

問題1 次の在庫管理に関する記述を読み、各設問に答えよ。

在庫管理とは、企業が保管する製品の在庫量を適切にコントロールすることである。在庫量が少なすぎると品切れが発生するが、在庫費用は少なくて済む。また、在庫量が多すぎると品切れは発生しないが、在庫費用が多くなってしまう。したがって、この相反する在庫量を適切にコントロールすることが必要である。

<設問1> 次の発注量に関する記述中の□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

在庫管理にかかる費用は□(1)と□(2)である。

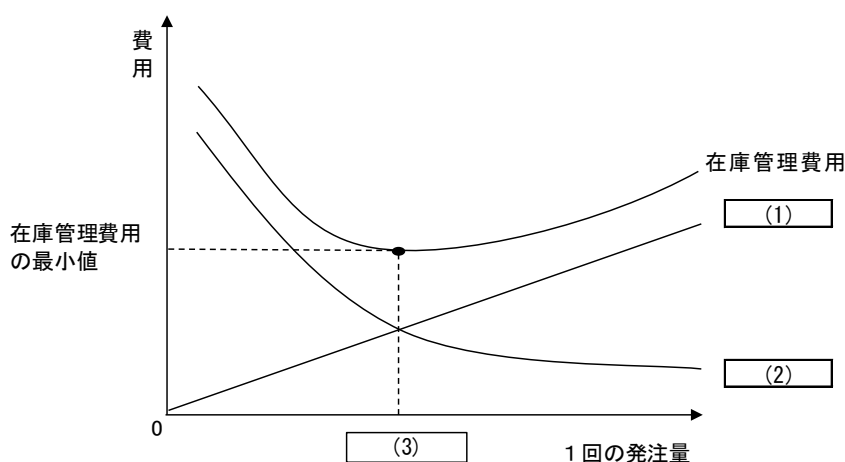


図 発注量と在庫管理費用の関係

□(1)とは製品を保管するためにかかる費用であり、倉庫代や保管するための電気料金などが該当する。在庫量が多くなればなるほど増加する。

□(2)とは発注するたびにかかる費用であり、発注のための通信費や配達費などが該当する。1回の発注量を少なくすると発注回数が多くなる。発注回数が多くなればなるほど□(2)が増加することになる。

この二つの費用の和は在庫管理費用と呼ばれ、この和が最も小さくなる発注量を□(3)とよび、次の式で表される。

$$\sqrt{\frac{2 \times \text{年間総需要量} \times \text{1回の発注費}}{\text{1個の年間保管費}}}$$

例えば、インクジェットプリンタのインクの販売量が15,000個/年であり、年間保管費が600円/個、1回の発注費1,250円の場合、発注1回当たりの□(3)は□(4)個となる。

(1) ～ (3) の解答群

- | | |
|-----------|----------|
| ア. 経済的発注量 | イ. 在庫調整費 |
| ウ. 年間販売量 | エ. 発注費用 |
| オ. 販売費用 | カ. 保管費用 |

(4) の解答群

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| ア. 10 | イ. 100 | ウ. 120 | エ. 250 |
|-------|--------|--------|--------|

<設問 2> 次の発注方法に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

在庫管理における発注方法には、 (5) (6) などがある。

(5) は、製品や商品を発注する時期をあらかじめ決めておくもので、次に発注するまでに品切れを起こさないように、需要を予測して発注量を決定する。

(6) は、在庫量があらかじめ決められた量（発注点）を下回ったら、一定量を発注する方法であり、発注時期は不定である。発注点は次の式で求められる。

$$\text{発注点} = 1 \text{ 日当たりの平均販売量} \times \text{調達期間} + \text{ (7) }$$

発注してから納品されるまでの期間を調達期間と呼ぶが、この調達期間が予定より長くなったり、調達期間に需要が急に増えて品切れが起こったりすることもある。このような品切れを起こさないレベルの在庫を (7) と呼ぶ。

ここで、インクジェットプリンタのインクの発注の場合、発注点は (8) となる。なお、1 日当たりの平均販売量は 42 個とし、調達期間は 3 日、 (7) は 150 個とする。

(5) ～ (7) の解答群

- | | |
|----------|----------|
| ア. 2 ビン法 | イ. 安全在庫 |
| ウ. 過剰在庫 | エ. 個別法 |
| オ. 定期発注法 | カ. 定量発注法 |

(8) の解答群

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ア. 150 | イ. 225 | ウ. 250 | エ. 276 |
|--------|--------|--------|--------|